

東京農工大学 大学院農学研究院
動物生命科学部門 准教授 公募要領【女性限定公募】

【公募概要】

学長リーダーシップによるダイバーシティとインクルージョン実現の一環である「女性教員の計画的増員」方針に基づき、「女性教員キャリアデザイン制度」による任期の定めのない准教授（女性限定）を公募いたします。

「女性教員キャリアデザイン制度」により採用された女性研究者は、独立した研究室を運営でき、研究室の立ち上げに必要なスタートアップ資金配分、研究環境構築支援、メンターの配置を行います。また、女性未来育成機構による各種学内支援制度を活用することによりライフイベント中の支援を受けることができます。

【募集職種】 准教授 1 名

【雇用形態】 常勤 任期の定めなし。裁量労働制（みなし7時間45分/日）

【専門分野】

農学研究院動物生命科学部門においては、人類と動物の健康と福祉に貢献する教育および研究を行っています。病態獣医学に関する知見を持ち、種々の疾患（腫瘍、感染症、炎症性疾患、代謝性、加齢性疾患等）の発生機序について分子から個体にいたる様々なレベルで理解すること目的とし、幅広い分野と協調・融合させた応用研究を推進できる女性人材を募集します。

【求められる活動・人物像】

＜研究面＞

- 1) 獣医学分野の発展のための研究推進を期待できる人
- 2) 分野横断的な共同研究に、協調性をもって参画できる人
- 3) 国際的な研究の実施に意欲をもつ人を歓迎します。

＜教育面＞

- 1) 学部、大学院での学生への講義
担当予定科目

本人の専門性を考慮した共通教育科目および専門科目を担当していただきます。

大学院： 動物基礎医学特論、動物基礎医学特別演習、研究デザイン演習、研究プレゼンテーション演習等

学 部： 共通教育科目（分担）、動物病理学総論（分担）、動物病理学各論（分担）、病理学実習（分担）、卒業研究（分担）等

- 2) 学部、大学院学生への研究指導
- 3) 自身がロールモデルとなり、女子学生の博士後期課程進学を促すことを期待します。

<運営面>

1) 学内業務や社会貢献を積極的に担い、リーダーシップを発揮できる人

【応募資格】

- ・博士の学位を有していること
- ・原則として3年以上研究機関等での勤務経験を有する女性研究者
- ・獣医師の資格を持つことが望ましい
- ・獣医病理学の専門家の資格を持つことが望ましい
- ・日本語での授業が可能なこと ただし国籍は問いません

【所属機関、勤務地】

所属：東京農工大学 大学院農学研究院 動物生命科学部門

(兼務) 女性未来育成機構

機関名：国立大学法人東京農工大学

勤務地：府中キャンパス 〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8

【採用予定日】 令和8年4月1日以降のできるだけ早い時期

【給与】 年俸制 経歴や職務内容に応じて本学の規程により決定

(賞与および各種手当あり)

【提出書類 (日本語による提出)】

以下の提出書類をPDF ファイルとして書類提出先Eメールアドレスへ電子メールで提出してください(最大ファイル容量 10 MB)。ファイル容量が超過する場合は、送付前に問合せ先に連絡をしてください。応募に係る個人情報は個人情報保護法及び本学規定に基づいて適切な取り扱いをいたします。公募の事実是非公開としますが、選考上必要な範囲において照会等を行うことがあります。また、応募書類は返却しません。

① 履歴書 (下記URLより本学様式をダウンロードして使用)

写真添付のこと。連絡先として、Eメールアドレスおよび電話番号を明記のうえ、高校卒業後の学歴・留学歴・職歴などを記すこと。

<https://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/kyouin/rirekisho.html>

② 研究・教育業績リスト (書式自由、1部)

・学位論文、原著論文 (査読の有無を明記)、総説、著書、国内外シンポジウム等発表 (招待講演の有無を明記) などに分けて記載。

・所属学会・役員、教育実績、社会貢献活動、受賞、取得研究費 (代表者と分担者の区別を明記) などについても記載。

③ 主要業績 5 点まで (発表論文のPDF)

- ④ これまでの研究成果の概要（図表を含めA4用紙2頁以内）
- ⑤ 着任後の研究計画の概要（図表を含めA4用紙2頁以内）
- ⑥ 教育実績と着任後の教育に関する抱負（A4用紙1頁以内）
- ⑦ 応募者に関する所見を伺える方2名についての情報（氏名、所属、連絡先電話番号、E-mailアドレスなど）（書式自由）

【応募締切】 2025年12月15日（月）17時（日本時間）必着

【選考方法】

書類選考後、面接を経て決定します。書類提出や面接出席等に要する諸費用は応募者の負担となりますので、予めご了承ください。また、書類審査及び面接選考結果の通知を含めて、選考に関する連絡は原則、電子メールにて行います。

【問い合わせ先・応募書類の提出先】

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 東京農工大学大学院農学研究院

動物生命科学部門准教授選考委員会委員長 吉田敏則

Eメール：yoshida7<at>cc.tuat.ac.jp（<at>を@と置き換えてください）

※メール送信時には、件名に「動物生命科学部門教員応募について」と記載してください。

【その他】

1) この取り組みは「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」（昭和47年法律第113号）第8条の規定に基づき実施しています。

2) 東京農工大学は、男女共同参画を積極的に推進しています。

東京農工大学女性未来育成機構 HP (<http://web.tuat.ac.jp/~dan-jo/josei/>)

3) 採用後、以下のとおりスタートアップ資金等の支援措置の機会が与えられます。

＜スタートアップ資金＞

スタートアップ資金は3年間で合計300万円です。4年目以降の研究費は一般のテニユア教員と同等です。

＜ライフイベント支援＞

ライフイベントによる休職等の期間中は、女性未来育成機構による各種学内支援制度 (<http://web.tuat.ac.jp/~dan-jo/josei/support.html>) が利用可能です。また女性未来育成機構は、採用された女性教員に助言・サポートを行います。

＜上位職選考＞

採用後3年目に進捗状況の確認および5年目に上位職選考を行い、採用部局での基準を満たせば上位職にキャリアアップすることができます。上位職の適格基準は、採用後6か月以内に採用部局設置の上位職選考委員会より通知されます。なお不適格となった場合は6年目又は7年目に再選考を受ける必要があります（ライフイベントによる休職等の

場合、上位職選考及び再選考の時期を延期できます）。上位職選考及び再選考の結果不適格だった場合も、採用時の職位は保証されます。

- 4) 教員選考において、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、安全保障の確認が必要です。

東京農工大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、職員の採用に際し安全保障上の確認を行っており、確認に必要な情報の提供をお願いしています。審査の結果、規制事項に該当する場合は、希望する教育研究の変更を求める場合があります。また、経済産業省へ許可申請をした結果、不許可の通知があった場合は内定を取り消すことがあります。